

2006.4.1

循環器・呼吸器病センター

だより 第31号



病院長就任のごあいさつ



春暖の候、先生方におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、堀江俊伸前病院長の後任として、埼玉県立循環器・呼吸器病センターの第4代病院長に就任いたしましたので、ごあいさつを申し上げます。

当センターは、循環器系・呼吸器系疾患の高度専門医療を担う医療機関としての役割を担っており、運営に当たっては、「県民の方を向いた、患者さんのための医療」という県立病院全体の基本理念のもとに、当センターとしても「患者さん第一」をモットーにして「誠意と熱意をもって患者さんに接する」という基本理念を掲げ、患者さんや御家族に接するようにしてまいりました。

また、医療機関として、保障できる医療の質、更により高度な医療及びより安全な医療を提供できる体制を維持することが重要と考えております。これまでも取り組んできておるところではございますが、今後ともこれを努力目標として、充実した医療の提供に努めてまいります。

当センターは開設以来10年以上が経過し、老朽化した医療機器も計画的に更新し、新しい機器が整備されてきております。これらの機器を活用して、日々の臨床に利用して、より高度な診療上の要求に応えるようにしてまいります。

なお、医療安全への配慮については、従来からも対応してきたところではございますが、更に十分な活動を確保するために、この4月から医療安全管理室を設置いたしました。同室では、医師で副病院長を室長としたほか、専従の看護師がリスクマネージャーとして日々の安全管理を推進してまいります。

4月の人事異動では、私をはじめ、医師においても内部昇格などの異動がございました。佐々木達海心臓血管外科長が副病院長として昇格し、手術部長のほか、新しく設置しました医療安全管理室長を兼務しております。また、循環器内科長に武藤誠副部長が、心臓血管外科長に蜂谷貴部長が就任いたしました。

循環器系において診療科長の変更があったほか、呼吸器系の診療科も含めて新たな医師を迎え、初心にもどって皆様方との医療連携に努めてまいりたいと存じます。今後、医療連携の会など皆様方に御紹介申し上げる機会もあるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

さて、事務部門で特記することとしては、医事業務部門を充実するため民間医療機関より任期付きで採用した西脇正義主査が着任しました。

このように、埼玉県立循環器・呼吸器病センターが新しいスタッフにより、再出発しました。皆様方の御期待に沿えるような診療ができるように努力してまいりますので、今後とも御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

病院長 今井 嘉門

I I I Δ N O O O 新体制の御紹介 I Δ N O O O I I

病院長 今井 嘉門

副病院長 城下 博夫(脳神経外科長兼務) 杉田 裕(呼吸器内科長兼務) 佐々木 達海

循環器内科
心臓血管外科
放射線科
呼吸器内科
呼吸器外科
脳神経外科
リハビリテーション科
麻酔科
病理科

科長兼副部長 武藤 誠
科長兼部長 蜂谷 貴
科長兼部長 星 俊子
副部長 高柳 昇
科長兼部長 星 永進
副部長 猿田 一彦
科長兼副部長 洲川 明久
科長兼副部長 河原 史典(H18.4転入)
科長兼部長 河端 美則

副部長 布田 有司
副部長 小野口 勝久
副部長 叶内 哲
副部長 柳澤 勉
副部長 村井 克己